FUJIFILM

証券スキャン
取扱説明書

2024年12月　GM1416J1-3 1版
©富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

1 はじめに

追加型アプリケーションの証券スキャンの機能を説明しています。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

商標

マイクロソフト、Microsoft Entra、Windows、および Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Mac, and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標、または商標です。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

マニュアルの表記

マニュアルでは、次の記号を使用しています。

注記	必ず知っておいていただきたい情報、操作するときに必ず確認していただきたい情報を記載しています。
補足	操作の参考になる情報を記載しています。
参照	参照先を記載しています。
「　」	フォルダー、ファイル、アプリケーション、機能などの名称や入力文字などです。また、マニュアルの参照先です。
［　］	プリンター操作画面のタブ名、項目名、ボタン名、メニュー名、およびファイル名を表します。
{　}	操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：［{ログインユーザー名}］が表示されます。
＞	操作パネルの表示順序です。［項目名］＞［項目名］のように記載しています。
『　』	参照するマニュアルです。

2 動作環境について

本機能を使用する前に、次の項目が正しく設定されているか確認してください。

対象機種

弊社公式サイトを参照してください。

送信先 SMB サーバー

「証券スキャン」で使用できる SMB サーバーは、次の要件を満たす必要があります。

Windows の場合

Windows が提供する SMB サーバーが対象です。

対応 OS は次のとおりです。

- Windows Server 2022（64 ビッド）
- Windows Server 2019（64 ビッド）
- Windows Server 2016（64 ビッド）
- Windows 11（64 ビッド）
- Windows 10（32 ビッド /64 ビッド）

Mac OS の場合

Mac OS が提供するファイル共有機能に含まれる SMB サーバーが対象です。

対応 OS は次のとおりです。

- macOS 14/13/12/11/10.15

複合機の設定

複合機の機械管理者モードにログインし、下記の設定を確認、変更してください。

SMB クライアント

ホーム画面で、⚙ ＞［設定］＞［ネットワーク設定］＞［ポート設定］＞［SMB クライアント］

- ［SMB クライアント - ポート］：起動

SOAP

⚙ ＞［設定］＞［ネットワーク設定］＞［ポート設定］＞［SOAP］

- ［SOAP - ポート］：起動
- ［SOAP - ポート番号］：80

組み込みプラグイン機能

⚙ ＞［設定］＞［システム設定］＞［プラグイン設定］

- ［組み込みプラグイン機能］：有効

認証方式の設定

⚙ ＞［設定］＞［認証 / 集計管理］＞［認証 / セキュリティー設定］＞［認証の設定］

- ［認証 / 集計の設定］：［認証しない］、［本体認証 / 集計］、［ネット認証 / 集計］、［外部認証 / 集計］、または［カスタム認証］

3 「証券スキャン」の設定（管理者の操作）

管理者は、インターネットサービスから「証券スキャン」の運用と管理を行います。

設定画面を表示する

1 **コンピューターで Web ブラウザーを起動します。**

2 **Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力します。**
インターネットサービスが起動します。

3 **機械管理者モードにログインします。**

4 **［アプリ］をクリックし、［その他のアプリ］で［証券スキャン］をクリックします。**

5 **［利用プラグイン］で［表示］をクリックします。**

証券スキャンの設定画面が表示されます。

証券を追加する

1 「証券スキャン」の設定画面を表示します。

参照

・「設定画面を表示する」（P.5）

2 ［追加］をクリックします。

補足

・登録済みの証券情報を編集したり、コピーや削除したりすることもできます。
・［並び替え］をクリックすると、証券名の表示順を並び替えできます。この表示順に従って、ユーザーが証券名を選択する画面の表示順が変更されます。

3 次の項目を設定します。

項目		説明
証券設定		
	証券名	登録する証券の名称を指定します。
	証券サイズ	よこ（X）方向とたて（Y）方向の長さを mm 単位で指定します。
保存先設定		
	サーバー名	保存先のサーバー名または IP アドレスを指定します。
	共有名	SMB フォルダーに設定した共有名を指定します。
	保存場所	ファイルを保存するフォルダーのパスを指定します。
	ポート番号	SMB 転送のポート番号を指定します。設定をしていない場合は、SMB の標準ポートが使用されます。
	ユーザー名 パスワード	SMB 転送の認証ユーザー名とパスワードを指定します。
スキャン設定		
	プレビュー	スキャン後にプレビュー画面を表示するかどうかを選択します。 ユーザーがスキャン実行時に設定を変更することもできます。
	常に原稿ガラス面から読み取る	常に原稿ガラス面に原稿をセットして読み取るかどうかを選択します。 オフに設定した場合は、ユーザーがスキャン実行時に読み取り方法を選択できます。
	両面原稿送り	原稿送り装置に原稿をセットする場合に、両面をスキャンするか片面をスキャンするかを選択します。

項目		説明
	地色除去	地色を除去してスキャンするかどうかを選択します。
	裏写り防止	裏写りを防ぐかどうかを選択します。

4 **［接続確認］をクリックします。**

確認結果が表示されます。

補足

- 接続確認を実行すると、設定した保存先に空ファイルが送信されます。接続確認が完了した後も、空ファイルは削除されません。
- 空ファイルのファイル名は、「ScanSecurities」の文字列と、ファイル送信時の日付および時刻が付与されます。
  例：ScanSecurities_20210401_145921
- 接続確認を実行した後、接続中画面で［閉じる］を押しても、空ファイルが送信されることがあります。その際、接続確認の結果画面は表示されません。

5 **［閉じる］をクリックします。**

6 **［OK］をクリックします。**

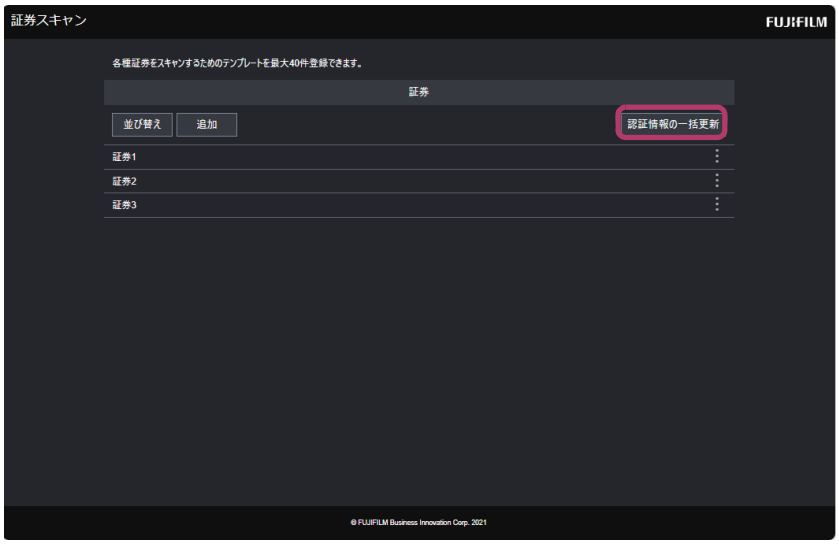
認証情報を一括更新する

1 **「証券スキャン」の設定画面を表示します。**

参照

・「設定画面を表示する」（P.5）

2 **［認証情報の一括更新］をクリックします。**



3 **更新する情報を選択し、［認証情報入力］をクリックします。**

4 **［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックします。**

5 **［閉じる］をクリックします。**

4 証券のスキャン（ユーザー操作）

「証券スキャン」で証券をスキャンする操作を説明します。

証券をスキャンする

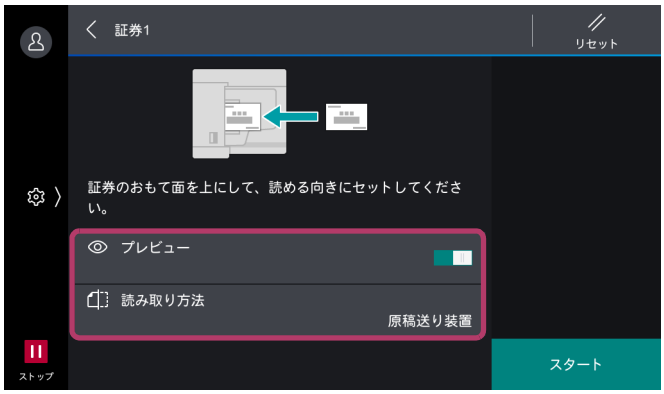
1 複合機のアプリ画面で［証券スキャン］をタップします。

補足

・複合機の認証機能を利用している場合は、［証券スキャン］を押す前に認証を行います。

2 証券名を選択し、［次へ］をタップします。

3 必要に応じてスキャンの設定を変更します。



項目	説明
プレビュー	スキャン後にプレビュー画面を表示するかどうかを選択します。
読み取り方法	原稿の読み取り方法を［原稿送り装置］と［原稿ガラス］から選択します。 補足 ・管理者設定で［常に原稿ガラス面から読み取る］がオンになっている場合は、［読み取り方法］は表示されません。 ・管理者設定で設定した［証券サイズ］が複合機の原稿送り装置に対応していない場合は、［読み取り方法］は表示されません。

補足

・この画面に表示されない項目は、複合機側の設定に従います。

4 **画面の指示に従って、スキャンする証券をセットします。**

5 **［スタート］をタップします。**

補足

・原稿は、フルカラー、240 dpi、枠消しなしでスキャンされます。
・スキャンが実行されると、管理者が設定した保存場所にスキャンフォルダーが作成され、スキャンデータが JPEG 形式で保存されます。
・スキャンフォルダー名：{年月日} _ {時分秒} _ {複合機のシリアル番号}
・スキャンデータ名：{スキャンフォルダー名} _ {3 桁連番} .jpg
・スキャン終了後、設定を変えてスキャンをする場合は、［リセット］を押して、再度設定を行ってスキャンを実行してください。

5 設定情報のエクスポート / インポート

エクスポート / インポートの概要

「複合機追加型アプリケーション設定複製」を使用すると、「証券スキャン」の設定情報をコンピューターに保存したり、ほかの複合機に複製したりできます。

設定をコンピューターに保存することを「エクスポート」、保存した設定を複合機に複製することを「インポート」と呼びます。

複製できる設定情報

エクスポート / インポートで複製できる設定情報は、次のとおりです。

- 証券スキャン
  - 管理者設定

6 トラブル対処

トラブルが発生した場合の対処方法について説明します。
対処方法を実施してもエラーが解決しない場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

こんなときは

操作パネルのエラーメッセージ

複合機の操作パネルにエラーメッセージが表示された場合の対処方法を説明します。

メッセージ / エラーコード	対処方法
証券の登録がありません。	管理者に証券情報の登録を依頼してください。
読み込み中または停止中のジョブがあるためスタートできません。 ジョブ情報画面で確認してください。	実行中のジョブが終わるのを待つか、停止中のジョブを完了させてから、次のジョブを実行してください。
エラーが発生しました。 繰り返し発生する場合は管理者に連絡してください。 SCAN-%1	最新バージョンのアプリケーションがリリースされているか確認してください。リリースされていない場合は、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。 状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カストマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 「%1」にはエラーコードが表示されます。
エラーが発生しました。 しばらくしてからもう一度やり直してください。 繰り返し発生する場合は管理者に連絡してください。 XCP-1303	プラグインが起動していないか異常停止しているため、プラグインを開始してください。
通信に問題が発生しました。 しばらくしてからもう一度やり直してください。 XCP-1011	プラグインと通信中です。 しばらくしてから、もう一度操作を実行してください。
エラーが発生しました。 繰り返し発生する場合は管理者に連絡してください。 XCP-%1	複合機の電源を切って操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 再度同じメッセージが表示された場合は、弊社のカストマーコンタクトセンターにご連絡ください。 状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カストマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 「%1」にはエラーコードが表示されます。
システムエラーが発生しました。 繰り返し発生する場合は、カストマーコンタクトセンターにお問い合わせください。 エラーコード：%1	複合機の電源を切って操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 再度同じメッセージが表示された場合は、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。 状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カストマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 「%1」にはエラーコードが表示されます。

インターネットサービスのエラーメッセージ

インターネットサービスにエラーメッセージが表示された場合の対処方法を説明します。

エラーメッセージ	対処方法
システムエラーが発生しました。 繰り返し発生する場合は、カストマーコンタクトセンターにお問い合わせください。 %1	複合機の電源を切って操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 再度同じメッセージが表示された場合は、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。 状況により、お客様に確認を依頼する場合や、カストマーエンジニアによる保守が必要となる場合があります。 「%1」にはエラーコードが表示されます。
SMB 通信機能が無効になっています。複合機の設定を確認してください。	複合機のネットワーク設定を確認してください。 参照 ・「複合機の設定」（P.3）
サーバーが見つかりません。 以下の内容を確認してください。 ・［保存先設定］の［サーバー名］ ・サーバーまたは複合機のネットワークの設定	［保存先設定］の［サーバー名］の入力内容を確認してください。 参照 ・「証券を追加する」（P.6）
共有名が見つかりません。 以下の内容を確認してください。 ・［保存先設定］の［共有名］ ・サーバーの共有設定	［保存先設定］の［共有名］の入力内容を確認してください。 参照 ・「証券を追加する」（P.6）
保存場所を確認してください。	［保存先設定］の［保存場所］の入力内容を確認してください。 参照 ・「証券を追加する」（P.6）
パス名またはディレクトリ名の指定が正しくありません。 以下の内容を確認してください。 ・［保存先設定］の［保存場所］ ・サーバーの共有設定	
ユーザー名が正しくありません。	ユーザーを有効にするか、ほかのユーザーを設定してください。
ユーザーがロックアウトされています。	
ユーザーが制限されています。空パスワードが許可されていません。	
ユーザーが無効になっています。 ユーザーアカウントの管理者に確認してください。	
ユーザーの有効期間が過ぎています。 ユーザーアカウントの管理者に確認してください。	
サーバーのセキュリティーを強化するために、パスワードを初期状態から変更してください。	パスワードが無効、または有効期限切れのため、変更が必要です。SMB サーバーのパスワードを変更した後、変更後のパスワードを［保存先設定］の［パスワード］に設定してください。
パスワードの有効期間が過ぎています。 ユーザーアカウントの管理者に確認してください。	
アクセス権が有りません。サーバーのアクセス権設定を確認してください。	指定されているユーザーに保存先のフォルダーのアクセス権を設定するか、保存先をアクセス権があるフォルダーに変更してください。

エラーメッセージ	対処方法
サーバーにログインできない時間帯です。	指定されているユーザーがサーバーにログインできる時間に変更してください。
ログイン可能なワークステーションが制限されています。	SMB サーバーのログインの制限を解除するか、ほかのサーバーを指定してください。
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続を確認してください。	ネットワーク接続、および通信ポート番号を確認してください。
通信がタイムアウトしました。ネットワーク接続を確認してください。	
SMB 通信でエラーが発生しました。 ネットワークやサーバーの状態を確認してください。	

7 バージョンアップについて

Management Consoleを使用することで本アプリケーションをバージョンアップ（アップデート）できます。
Management Console の対応機種やダウンロードは弊社公式サイトの商品情報ページをご覧ください。
インストール方法および利用方法は、商品情報ページからダウンロードページに移動し、「ご利用に際して」ページにある「Management Console readme」をご覧ください。

注記

・Management Console からバージョンアップするためには、あらかじめ対象の有償商品がインストールされている必要があります。

8 注意 / 制限事項について

本機能を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 読み取りサイズは固定のため、サイズが異なる証券を混在させてスキャンすることはできません。1 つの券種で複数のサイズがある場合は、「証券情報」を分けて登録してください。
- 原稿の自動正立や白紙の判定は行いません。原稿をセットするときは、天地の向きや表裏を正しくセットしてください。スキャン後のイメージは、［プレビュー］で確認できます。
- 原稿を原稿ガラス面にセットして裏面をスキャンするときは、プレビュー画面で［原稿追加］を選択するか、またはスキャン実行中の画面で［原稿を追加する］を有効にしてください。表面のスキャンが終わったら原稿を裏返し、続けて裏面をスキャンしてください。
- 原稿ガラス面から読み取る場合、原稿ガラス面に原稿をセットしていなくても、スキャンが実行されます。
- スキャンフォルダーの名称に使用している複合機シリアル番号は、異なる機種では同一のシリアル番号が存在する場合があります。同じシリアル番号の複合機が同じ年月日時分秒でスキャンした場合、スキャンフォルダーの名称は同じになります。
- スキャンデータの保存場所に同じ名称のスキャンデータがあった場合、ファイル名末尾に「-0001」～「-9999」の連番が付きます。「-9999」を超えた場合は、ジョブエラーになります。
- スキャンジョブの転送中に複合機の電源を切ると、スキャン文書は保存されません。ジョブが完了するまで、複合機の電源は切らないでください。
- 外部認証 (LDAP および Microsoft Entra ID では、ユーザーごとにスキャン機能の利用を制限できません。